HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	2013年度センター活動報告
Citation	地域経済経営ネットワーク研究センター年報, 3, 103-113
Issue Date	2014-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/55215
Type	other
File Information	REBN3_103.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

2013 年度　センター活動報告

◆シンポジウム，講演会等

セミナー「とかい暮らし，いなか暮らし－北海道で「豊か」に暮らすには－」（共催：北海道大学大学院経済学研究科・経済学部）

日時：2013 年 7 月 4 日（木）

会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W103 教室

科研費シンポジウム「ワーク・スタイルと地域コミュニティの展望：コワーキングから考える」（共催：北海道大学経済学部，協力：札幌コワーキングサポーターズ）

日時：2013 年 7 月 10 日（水）

会場：北海道大学クラーク会館　講堂

地域経済経営ネットワーク研究センター　シンポジウム「観光地アメニティによる地域活性化への路－マーケティングからの提言－」

日時：2013 年 11 月 21 日（木）

会場：北海道大学クラーク会館　講堂

科研費シンポジウム「ファイナンス理論の新展開と金融リスク管理」（共催：北海道大学大学院経済学研究科）

日時：2014 年 2 月 16 日（日），17 日（月）

会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W102 教室

◆研究会，その他

北海道大学大学院経済学研究科　地域経済研究センター　研究会（全 6 回）

① 2013.5.31, 12:10 ～　町野　和夫　研究員（於：経済学研究科研究棟 3 階会議室）

② 2013.6.18, 12:10 ～　樋渡　雅人　研究員（同上）

③ 2013.7.19, 12:10 ～　山崎　幹根　研究員（同上）

④ 2013.8.2, 12:00 ～　安部　由起子　研究員（同上）

⑤ 2013. 10.4, 12:10 ～　西部　忠　研究員（同上）

⑥ 2014.2.14, 12:00 ～　韓　載香　研究員（同上）

HOKKAIDO Coworking Party 2013

主催：札幌コワーキング・サポーターズ：経済産業省北海道経済産業局，札幌市，北洋銀行，北海道大学、日本政策金融公庫

日時：2013 年 9 月 13 日（金）内田洋行札幌ユビキタス協創広場 U-cala

◆社会貢献

2013年度研究員活動報告（2013年4月1日～2014年3月31日）

このリストは，2013年4月1日から2014年3月31日までに各研究員が行なった大学外での活動である。【講義】，【委員会活動】，【講演】，【著書】，【研究論文・その他】，【新聞等寄稿】，【その他】の7項目に分類した。なお，これらは，各研究員の自己報告であり，回答のあったものを掲載した。

安部　由起子　研究員

【講義】

リヨン第2大学　非常勤講師

【委員会活動】

内閣府　統計委員会委員

内閣府　男女共同参画関連政策の定量的分析に関する研究会構成員

内閣府　男女共同参画会議専門委員

【研究論文・その他】

“Regional variations in labor force behavior of women in Japan,” Japan and the World Economy, 28, pp.112-124, 2013.12

［報告］「女性就業の地域差に関する考察」『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』（北海道大学）3　67頁　2014年3月

小磯　修二　研究員

【委員会活動】

北海道開発局　北海道開発局総合評価審査委員会委員

北海道　北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画改定有識者検討会議専門部会委員

北海道　観光審議会会長

倶知安町　「ひらふ高原地域のまちづくりを検討する会」委員（代表）

国土交通省北海道局　北海道開発の将来展望に関する有識者懇談会委員

中小企業基盤整備機構　北海道本部中小企業大学旭川校　中小企業大学校旭川校運営会議委員長

石狩市　石狩スマートエネルギーコミュニティ構想研究会座長

白糠町　白糠スマートネルギーコミュニティ構想普及支援事業検討会委員長

首都圏バックアップ機能誘致研究会会長

（独）北海道立総合研究機構経営諮問委員

【講演】

栗山町中小企業同友会「地域の自立的発展と中小企業の振興」（2013.4.2）

北洋銀行次世代セミナー「次世代につなぐ北海道」（2013.5.20）

全国経済同友会セミナー「地域経済の課題と戦略」（2013.5.23）

北海道新聞室蘭政経文化懇話会「地方の成長戦略を考える」（2013.6.10）

北海道新聞さとほろ会「北海道のバックアップ機能の強化に向けて」（2013.7.18）

滝川市「地域経営と自治体の役割」（2013.8.21）

技術士会「次世代につなぐ北海道」（2013.10.4）

日独シンポジウム（ベルリン日独センター）「地域の再生と観光」（2013.11.1）

時計台フォーラム「地方の論理」（2013.11.14）

キャリアバンク・オープンセミナー「「地方が輝くために」創造と革新に向けての地域戦略」（2014.2.26）

札幌市環境プラザ「地方が輝くために」（2014.2.27）

【著書】

『地方が輝くために』柏艪舎　2013年11月

『コモンズ　地域の再生と創造』（共著）北海道大学出版会　2014年1月

【新聞等寄稿】

『北海道新聞』「シルクロードに花咲く日本の一村一品運動」夕刊　(2013.10.9)

『北海道新聞』「シリーズ評論　東京五輪が背負うもの」(2013.10.18)

『毎日新聞』「限界に生きる：挑む住民たち／1　小磯修二・北海道大公共政策大学院特任教授に聞く」 インタビュー記事　地方版 (2014.1.1)

『北海道新聞』「十勝スーパー戦国時代」 インタビュー記事 (2014.1.5)

『北海道新聞』「月曜討論 - 新千歳空港の深夜・早朝枠拡大国際化へ機能強化必要」(2014.2.3)

『朝日新聞』「コモンズによる地域再生」 北の文化　地方版 (2014.2.25)

西部　忠　研究員

【講義】

ＮＨＫ文化センター札幌支社講師「アベノミクスと TPP －貨幣や金融のあり方－」

(社) 北海道中小企業同友会講師「資本主義はどこに向かうのか」

(社) 北海道中小企業同友会講師「転換期の日本経済」

【研究論文・その他】

「地域の多元的価値を測定するための豊かさ指標の開発とその地域政策への応用可能性の研究」(町野和夫，平本健太，吉見宏と共著)『平成 24 年度助成研究論文集』北海道開発協会開発調査総合研究所　135 頁－ 159 頁　2013 年 6 月

“Community Dock: a New Policy Approach for Altering Institutions,” co-authored with Takayoshi Kusago, *MONEY IN DIVERSE ECONOMIES: CONCEPTUALISING PLURALITY*, 2p., 2013.6

“Gaming Simulation using Electronic Community Currency: Behavioral Analysis of Self-versus-Community Consciousness,” co-authored with Masahiro Mikami, *ibid*., 30p., 2013.6

“Correlation between Currency Consciousness among Participants of Community Currency and Its Circulation,” co-authored with Shigeto Kobayashi, Takashi Hashimoto and Ken-Ichi Kurita, *ibid*., 12p., 2013.6

「持続可能な経済社会を実現するための地域通貨の応用に関する研究－進化主義的制度設計によるメディア・デザイン論－」『2013 年度旭硝子財団助成研究成果報告書』(旭硝子財団) No.78 (人文－奨励研究)　1-13 頁　2013 年 7 月

「情報化とサービス化の複合傾向としての脱工業化」『知識共創』(北陸先端科学技術大学院大学) 4　Ⅲ 2-1 頁－Ⅲ 2-10 頁　2014 年 3 月 1 日

「グローバリゼーション－「市場の内部化」による資本主義市場経済の進化－」『進化経済学論集』18　354 頁－ 373 頁　2014 年 3 月

「循環型社会の形成に向けた地域通貨の役割」『協同組合研究誌　にじ』(JC 総研) 645　1 頁－ 10 頁　2014 年 3 月

［報告］「コミュニティ・ドックとは何か」『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』(北海道大学)　3　68 頁－ 70 頁　2014 年 3 月

【その他】

特定非営利法人イーパーツ　非常勤理事

進化経済学会　常任理事

北海道経済学会　理事

橋本　努　研究員

【委員会活動】

日本学術会議　連携会員

北海道大学出版会　非常勤企画委員

【講演】

北海道大学イノベーションフォーラム「いまこそ家めし　ちょっと未来の健康生活」パネリスト (2013.8. 6)

日本学術会議公開シンポジウム「モダニティの再規定　ポスト近代を超える時代認識」報告者 (2013.10. 13)

日本学術会議公開シンポジウム「グローバル化時代における民主主義的統治とは」討論者 (2013.11.9)

【研究論文・その他】

［書評］「森村進『リバタリアンはこう考える』」『週刊東洋経済』 2013/4/27・5/4　142 頁　2013 年 4 月 22 日

［書評］「鈴木康治『消費の自由と社会秩序』社会評論社 2012 年」『経済社会学会年報』XXXV 号　245 頁－ 246 頁　2013 年 9 月
［書評］「ロナン・パラン，リチャード・マーフィー，クリスチアン・シァヴァニュー著『[徹底解明] タックス・ヘイブン　グローバル経済の見えざる中心のメカニズムと実態』作品社　2013 年」『週間東洋経済』 2013/10/12　108 頁　2013 年 10 月 7 日
「法と公共性－立法過程における四段階の公共空間－」『法の理論』32　219 頁－ 228 頁　2013 年 11 月
［書評］「アンドレ・オルレアン『価値の帝国　経済学を再生する』藤原書店　2013 年」『週間東洋経済』 2014/1/18　116 頁　2014 年 1 月 14 日

【新聞等寄稿】

『朝日新聞』ニュースの本棚「サッチャーの遺産　「社会的なるもの」の再興」（2013.6.2）
「あなたの『正義』の話をしよう」（再掲）『ビジネスパーソンのための教養大全　自分の幹を太くする　今，知るべき 20 分野＋α』日経ビジネスアソシエ特別編集（2013.8）
【Interview（in Spanish)】“Debates liberales en el Norte de Japon: Entrevista a Hashimoto Tsutomu（1967-）,” in Adrian O. Ravier ed., La Escuela Austriaca desde adentro: Histrorias e Ideas de sus Pensadores, Volumen III, Madrid: Union Editorial, pp.387-413, 2013.9
『朝日新聞』耕論「増税は決めたけれど－乏しい「正当性」，説得力なし－」（2013.10．2）

平本　健太　研究員

【講義】

札幌大学　非常勤講師

【委員会活動】

経済産業省（北海道経済産業局）　特定研究開発等計画認定審査委員会委員長
経済産業省（北海道経済産業局）　戦略的基盤技術高度化支援事業採択審査委員会委員長
札幌市　札幌型新エネルギー産業開発支援事業審査委員会委員
（財）さっぽろ産業振興財団　評議員
（財）さっぽろ産業振興財団　さっぽろ起業家総合支援協議会会長
（財）さっぽろ産業振興財団　IT 利活用促進事業審査委員会審査委員

【研究論文・その他】

「地域の多元的価値を測定するための豊かさ指標の開発とその地域政策への応用可能性の研究」（西部忠，町野和夫，吉見宏と共著）『平成 24 年度助成研究論文集』北海道開発協会開発調査総合研究所　135 頁－ 159 頁　2013 年 6 月
「＜科研費シンポジウム＞ワーク・スタイルと地域コミュニティの展望－コワーキングから考える－」（阿部智和，宇田忠司と共著）『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』（北海道大学）3　53 頁－ 58 頁　2014 年 3 月

【その他】

帯広信用金庫「おびしん地域経営塾」講師
（公益財団法人）秋山記念生命科学振興財団　ネットワーク形成事業助成“地域をつなぐ”プロジェクト「次のエネルギー社会を担う人を生み出すエネチェン塾」アドバイザー
（株）テレビ北海道（TVh）「けいざいナビ北海道」コメンテーター
組織学会　評議員
日本生産管理学会　代議員
国際戦略経営研究学会　理事
北海道経済学会　理事

町野　和夫　研究員

【委員会活動】

北海道　北海道観光審議会会長
札幌市立大学経営審議会　学外委員
北海道大学観光学高等研究センター運営委員会　委員

【講演】
小樽商科大学 地域研究会 シンポジウム「グローバリズムと地域経済」パネルディスカッション　パネラー（2014.3.7）
【研究論文・その他】
地域の多元的価値を測定するための豊かさ指標の開発とその地域政策への応用可能性の研究」（西部忠，平本健太，吉見宏と共著）『平成 24 年度助成研究論文集』北海道開発協会開発調査総合研究所　135 頁－ 159 頁　2013 年 6 月
「地域別「豊かさ指標」の可能性」『開発こうほう』北海道開発協会　601　47 頁－ 51 頁　2013 年 8 月
「地域経済経営ネットワーク研究センター 2013 年度シンポジウム　観光地アメニティによる地域活性化への路－マーケティングからの提案－」『開発こうほう』北海道開発協会　607　39 頁－ 42 頁　2014 年 2 月
「新たな「豊かさ指標」作成の試み－予備調査からの考察－」『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』（北海道大学）　3　77 頁－ 86 頁　2014 年 3 月
［報告］「北海道の地域別「豊かさ指標」の開発（予備調査の結果）」『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』（北海道大学）3　59 頁－ 61 頁　2014 年 3 月
【その他】
北海道経済学会　理事

山崎　幹根　研究員
【講義】
北海学園大学　非常勤講師
【委員会活動】
（社）北海道未来総合研究所　理事
国土交通省　社会資本整備審議会専門委員
札幌市　札幌市行政評価委員会委員
江別市　指定管理者選定委員会委員
江別市　指定管理者外部評価委員会委員
【研究論文・その他】
［報告］「スコットランドの独立と連合王国のゆくえ」『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』（北海道大学）3　65 頁－ 66 頁　2014 年 3 月

吉田　文和　研究員
【講義】
武蔵女子短期大学　非常勤講師
札幌学院大学　非常勤講師
【委員会活動】
札幌市　第 8 次札幌市環境審議会委員
北海道　北海道グリーン・ビズ認定制度認定審査委員会委員
㈱エックス都市研究所　使用済み電気・電子機器の輸出時における中古品判断基準等検討会委員
㈱エックス都市研究所　平成 25 年度　水銀の回収・処分に関するワーキンググループ委員
北海道経済産業局　エネルギー開発・利用・普及優良事業者等北海道経済産業局長表彰選考委員会委員
下川町　下川町分散型エネルギーインフラ調査検討委員会委員長
【講演】
十勝・帯広未利用資源研究会　講師（2013.5.29）
（財）はまなす財団　講師　（2013.10.30）
環境・エネルギー国際シンポジウム：持続可能な未来へ　低炭素社会と再生可能エネルギー　「再生可能エネルギーと地域経済の活性化」（2013.11.5）
資源リサイクルセミナー「循環資源を活用した持続可能な地域社会づくり」（2013.11.8）
環境・エネルギーサポートビジネスフォーラム 2013 ～新たな市場への挑戦～「北海道における再生可能エネルギーの展望」（2013.11.25）

【著書】
『ドイツ脱原発倫理委員会報告』（ミランダ・シュラーズと共著）大月書店　158頁　2013年7月
【研究論文・その他】
「原発災害の政治経済学」『季刊経済理論』50（1）　14頁－24頁　2013年4月
【新聞等寄稿】
『北海道新聞』「料金転嫁困難　宣伝費など＊北電　３経費に年５０億円＊２４日値上げ申請＊大幅削減は必至」インタビュー記事（2013.4.22）
『北海道新聞』「冬の節電　対策は？」インタビュー記事（2013.11.2）
『北海道新聞』「月曜討論・函館市の大間原発差し止め訴訟」インタビュー記事（2014.2.10）
『朝日新聞　WEBRONZA』
・「脱原発とエネルギー転換に関する日独比較」ベルリン会議報告（2013.4.19）
・続：「脱原発とエネルギー転換に関する日独比較」ベルリン会議報告（2013.4.20）
・「値上げ」も「再稼働」も？－北電値上げ問題（2013.5.6）
・再生可能エネルギー固定価格買取制度の成果と課題（2013.6.10）
・再生可能エネルギーと自然保護の課題（2013.6.28）
・「論理と倫理」なき原発再稼働と原発輸出（2013.7.8）
・原発と倫理　ドイツ脱原発倫理委員会報告の意義（2013.7.24）
・「ゼロ原発」を実現した日本の課題（2013.11.12）
・ドイツに見る再生可能エネルギー制度改革（2013.11.26）
・「プルトニウムは今」大間原発，なぜフルMOX炉を新設するのか？（2014.2.5）
【その他】
環境省北海道地方環境事務所　第８回北海道地域エネルギー・温暖化対策推進会議・議長

吉見　宏　研究員
【講義】
札幌学院大学　非常勤講師
静岡県立大学　非常勤講師
熊本学園大学　非常勤講師
【委員会活動】
北海道　北海道市場化テスト監理委員会委員
北海道　北海道公益認定等審議会委員（会長代理）
札幌市　行政評価委員会委員　日本公認会計士協会　倫理委員会委員
日本公認会計士協会　上場会社監査事務所登録・措置不服審査会委員
金融庁総務企画局　企業会計審議会臨時委員
公認会計士・監査審査会　公認会計士試験委員
北海道運輸局　発注者綱紀保持委員会委員
北海道運輸局　入札監視委員会委員
北海道運輸局　予算監視・効率化サブ・チーム委員生活協同組合コープさっぽろ　有識者理事
北海道大学生活協同組合　非常勤監事
（社）北海道未来総合研究所　理事
北海道大学出版会　非常勤監事
北海道旅客鉄道（株）　経営自立計画に関する第三者委員会委員
北海道大学生活協同組合　非常勤監事
北海道管区行政評価局　北海道地域政策評価制度懇談会構成員
国際公会計学会　常務理事，北海道部会長
会計理論学会　理事
日本計画行政学会　本部理事，北海道支部副支部長

北海道経済学会　理事

【講演】

釧路公立大学　地域経済セミナー「釧路地域の公共交通の現状と可能性」(2013.10.4)

(株) 道新文化センター　講演講師 (2013.11.8)

静岡県立大学「会計倫理と企業不正」(2013.12.13)

日本公認会計士協会　講演講師　(2014.2.5)

北海道大学　第 11 回創成シンポジウム「石狩から電力革命－目指せ！送電ロス・ゼロの世界－」パネルディスカッションコメンテーター (2014.2.27)

【研究論文・その他】

「地域の多元的価値を測定するための豊かさ指標の開発とその地域政策への応用可能性の研究」(西部忠，町野和夫，平本健太と共著)『平成 24 年度助成研究論文集』北海道開発協会開発調査総合研究所　135 頁－ 159 頁　2013 年 6 月

「札幌市の路面電車とまちづくり－ループ化，低床車の導入と公営交通の悩み－」『鉄道ジャーナル』47 (10)　130 頁－ 133 頁　2013 年 10 月

「自治体の健康度をみるための会計改革」『開発こうほう』605　14 頁－ 15 頁　2013 年 12 月

[教科書]「ケースブック監査論第 5 版」新世社　222 頁　2013 年 12 月

「JR 北海道が経験したこと－厳しい自然環境と経営環境－」『鉄道ジャーナル』48 (1)　58 頁－ 59 頁　2014 年 1 月

[教科書]「無形項目にみる保証業務の対象の拡大可能性 (第 5 章所収)」71 頁－ 81 頁 「保証業務としての地方公共団体の監査 (第 11 章所収)」154 頁－ 163 頁 「知的資産経営の保証業務 (第 14 章所収)」192 頁－ 203 頁　内藤文雄編著『監査・保証業務の総合研究』 中央経済社　2014 年 1 月

【新聞等寄稿】

『北海道新聞』「＜ JR 北海道　再生への視点＞ 2　企業経営　他者参考に視野拡大を」(2014.2.3)

【その他】

北海道放送 (株) (HBC)「グッチーの今日ドキッ！」レギュラーコメンテーター

(株) テレビ北海道 (TVh)「けいざいナビ北海道」コメンテーター

北海道放送 (株) (HBC)「夕刊おがわ R」(ラジオ) レギュラーコメンテーター

北海道放送 (株) (HBC)「大人のラジオ・土曜は朝からのりゆきです」コメンテーター

北海道文化放送 (UHB)「さあ，トークだよ」コメンテーター

阿部　智和　研究員

【委員会活動】

(独立行政法人) 経済産業研究所　評価者

【研究論文・その他】

「日本におけるオフィス空間のデザイン研究の変遷－快適性と機能性の追究－」『經濟學研究』(北海道大学) 63 (1)　87 頁－ 113 頁　2013 年 6 月

「オフィス空間のデザイン研究のレビュー－知的創造性に着目したオフィス空間のデザインをめぐって－」『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』(北海道大学) 3　87 頁－ 101 頁　2014 年 3 月

「＜セミナー＞「とかい暮らし，いなか暮らし－北海道で「豊か」に暮らすには－」の概要と地域の豊かさに関する考察」(肥前洋一と共著))『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』(北海道大学) 3　47 頁－ 51 頁　2014 年 3 月

「＜科研費セミナー＞ワーク・スタイルと地域コミュニティの展望－コワーキングから考える－」(平本健太，宇田忠司と共著)『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』(北海道大学) 3　53 頁－ 58 頁　2014 年 3 月

大山　睦　研究員

【委員会活動】

(独立行政法人) 経済産業研究所　研究会委員

【講演】

政策研究大学院大学　講演講師　(2013.10.25)

経済理論・政策ワークショップ (青山学院大学)　講演講師　(2013.11.23)

Asia Pacific Innovation Conference（台湾） 研究報告者 （2013.12.7）

【研究論文・その他】

“Industry or Academia, Basic or Applied? Career Choices and Earnings Trejectories of Scientists,” co-authored with Rajshree AGARWAL, Management Science, 59（4）, pp.950-970, 2013.4

【その他】

メリーランド大学ロバート・エイチ・スミスビジネススクール 客員研究員（Innovation Personnel and Ecosystem-Career Choices and Earnings Trajectories of Scientists）

高木 真吾 研究員

【講演】

第66回OEIO研究会（大阪大学）Presenters （2013.4.12）

樋渡 雅人 研究員

【講演】

比較経済体制学会秋期大会（日本大学） 研究報告者（2013.11.9）

【研究論文・その他】

「ウズベキスタンにおける地域社会と移民－ネットワーク・データを用いたピア効果（peer effects）の検証－」『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』（北海道大学）3 62頁－64頁 2014年3月

【その他】

（一般社団法人）北海道開発技術センター 研修講師

池見 真由 研究員

【研究論文・その他】

「アフリカにおける住民参加型開発の評価に関する一考察－セネガル農村部での事例分析」『経済社会学会年報』35 2013年

舛田 佳弘 研究員

【講演】

Current Border Challenges: with a Japanese perspective-Peoples living on the Japan-Taiwan Borders: Toward Coexistence and Prosperity-Fluctuating between Prosperity and Decline-.（2013.9.10）

ヴィクトリア大学 グローバル研究センター公開セミナー Borders in Globalization –

北海道大学スラブ研究センター グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」ファイナルシンポジウム 若手研究者の実務報告「与那国と根室から」（2014.2.15）

【その他】

カナダ・ヴィクトリア大学公共管理学部グローバル研究センター客員研究員

横本 真千子 研究員

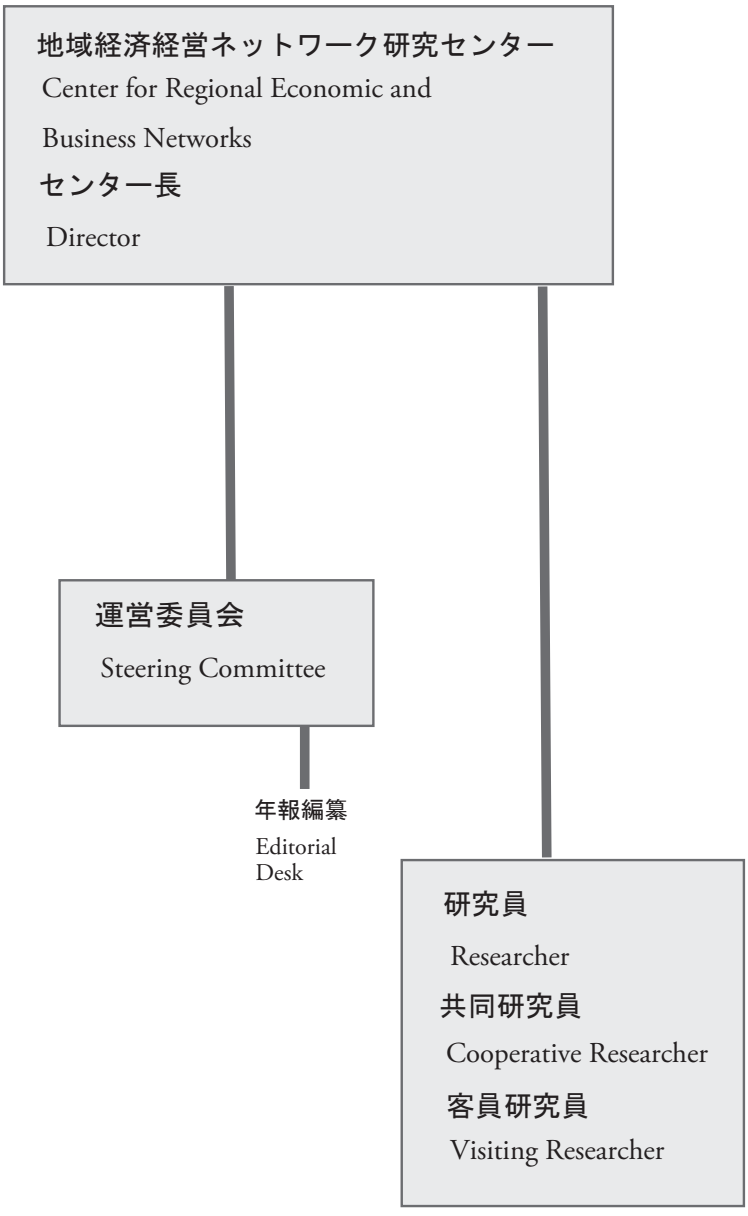
【その他】

ハンブルク大学アジア・アフリカ研究所客員研究員

◆刊行物

2014. 3. 28 『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』 3 号　刊行

◆センターの構成



北海道大学大学院経済学研究科『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』投稿規定

1．刊行の目的

『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』（以下本誌と略す）は，地域経済，地域経営，経済経営ネットワークおよび関連する諸分野における本研究センター及び本研究科の研究成果を社会に発信することを目的とし，年 1 回，3 月に刊行する。編纂はセンター運営委員会（以下，運営委員会）がおこなう。

2．投稿資格

① 本センター研究員
② 本研究科の教員
③ 本研究科の博士後期課程在学院生，研究生及び専門研究員
④ 本センター運営委員会が，特に投稿を認めたもの

（本学の教授，准教授，講師以外のものは，事前に運営委員会の承認を得ること）

3．年報の構成

① 特集論文（当面はセンター運営委員会からの依頼原稿により構成），研究会報告
② 研究論文，研究ノート，その他（書評，資料，翻訳など）
③ シンポジウムの講演録など

4．募集原稿

① 研究論文・研究ノート・その他（書評，資料，翻訳）を募集する。
② 1．の刊行の目的に沿った内容であること。
③ 原稿は日本語または英語で書かれたものとする。
④ 原則として字数制限はもうけない。但し，年報全体のページ数が多くなる場合は制限をもうける場合がある。

5．原稿の提出と掲載の可否

当該年 12 月 20 日までに原稿を提出する。ただし，本学の教授，准教授，講師以外のものは，事前に運営委員会の承認を得た上で，当該年 11 月 20 日までに原稿を提出すること。提出された原稿をもとに，運営委員会で論文の内容を評価し掲載の可否を判断する。

6．著作権

① 本誌に掲載された著作物の著作権は本センターに帰属する。著者が転載，著書に収録する場合は本センターの許諾を得ること。
② 著者は原稿の中で使用した図，写真を他の文献から引用，転載する場合は事前に著作権者から許可を得ること。
③ 本誌に掲載した論文は HUSCAP（北海道大学学術成果コレクション）に収録，電子化され，公開する。

7．その他

① **論文様式** 『地域経済経営ネットワーク研究センター年報　執筆要領』に基づき完成原稿を提出
② **投稿などに関わる費用** 投稿料は徴収しない。原稿料は払わない。特集論文，研究論文，研究ノート，その他（書評，資料，翻訳など），シンポジウムの講演録には抜き刷り 50 部を執筆者に進呈する（それ以上の部数は個人負担）。

問い合わせ先　〒060-0809　札幌市北区北 9 条西 7 丁目
北海道大学大学院経済学研究科　地域経済経営ネットワーク研究センター　年報担当
Tel & Fax: 011-706-4066　　E-mail: sacade@econ.hokudai.ac.jp

Contents

◆ Symposium : Center for Regional Economic and Business Networks (REBN)
Regional Revitalization via Enhanced Amenities of / for Tourist Areas from a Marketing Viewpoint

〈Lecture〉
Amenity Mix : Decisive Factor in Destination Marketing
TAMURA Masanori (Emeritus Prof. of Kobe University)
Firm-Fresh Yuzu Products Attracts Tourists: A Village with One Thousand People Promotes Tourism
TOTANI Mochifumi (CEO Managing Director of JA Umaji Village, Kochi Prefecture)
Realities and Possibilities in Tourism: What We have Learned from our Reforms and Innovations
SATO Daisuke (General Manager of Hoshino Resort TOMAMU)
The Present and the Future of Tourism in Hokkaido
SAKAGAWA Yuji (Prof. of the Graduate School of Economics and Business Administration)
〈Panel Discussion〉
TAMURA Masanori (Emeritus Prof. of Kobe University)
TOTANI Mochifumi (CEO Managing Director of JA Umaji Village, Kochi Prefecture)
SATO Daisuke (General Manager of Hoshino Resort TOMAMU)
SAKAGAWA Yuji (Prof. of the Graduate School of Economics and Business Administration)

◆ Lecture : Summary Report on the Seminar "Urban or Rural Life: Affluent Living in Hokkaido" and a Study of the Affluence of Regions
HIZEN Yoichi, ABE Tomokazu

◆ Symposium supported by Grant-in-Aid for Scientific Research : A Prospect of Styles of Work and Local Communities : Discussion from the Viewpoint of Coworking
HIRAMOTO Kenta, ABE Tomokazu, UDA Tadashi

◆ Seminars
1. MACHINO Kazuo : What is the Affluence of Regions? — Reflection of Multifaceted Value in Policy
2. HIWATARI Masato : Migration and a Communal Society in Uzbekistan: Estimation of Peer Effects of Social Networks
3. YAMAZAKI Mikine : Independence of Scotland and Future Prospects in the UK
4. ABE Yukiko : Study on Regional Differences in Women's Participation in the Workforce
5. NISHIBE Makoto : What is Community Dock?: Using Examples of Local Currency in Hokkaido's Tomamae Town and Sarabetsu Village
6. HAN, Jaehyang : Regional Economy and Ethnic Minority Business

◆ Research Articles
MACHINO Kazuo : Developing New "Affluence Indicators" based on two preliminary studies
ABE Tomokazu : A Review Article: Workplace Design and Knowledge Creation

◆ Activity Report (2013)
・Symposium, Lecture Meeting
・Seminars, Others
・Activities of the Researchers
・Publication
・Organizational Chart